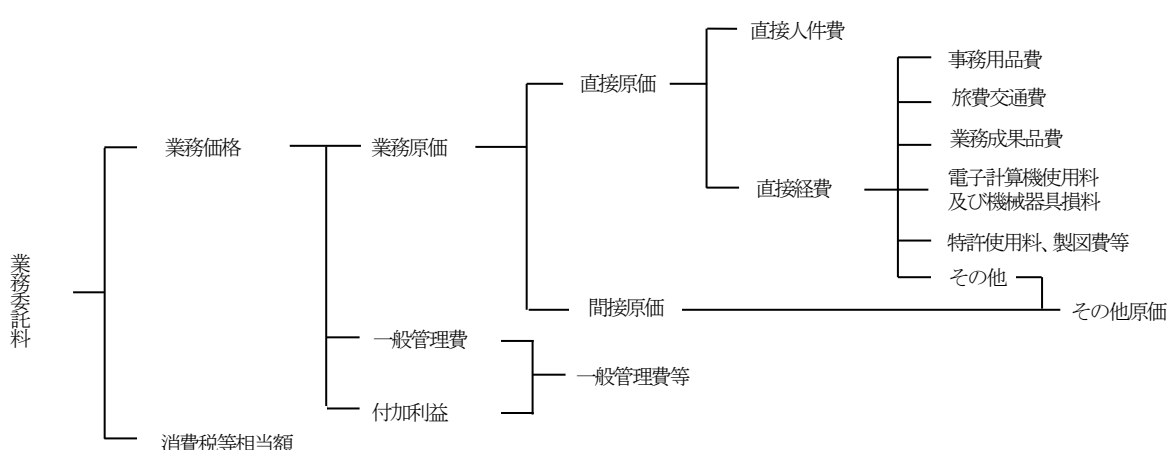
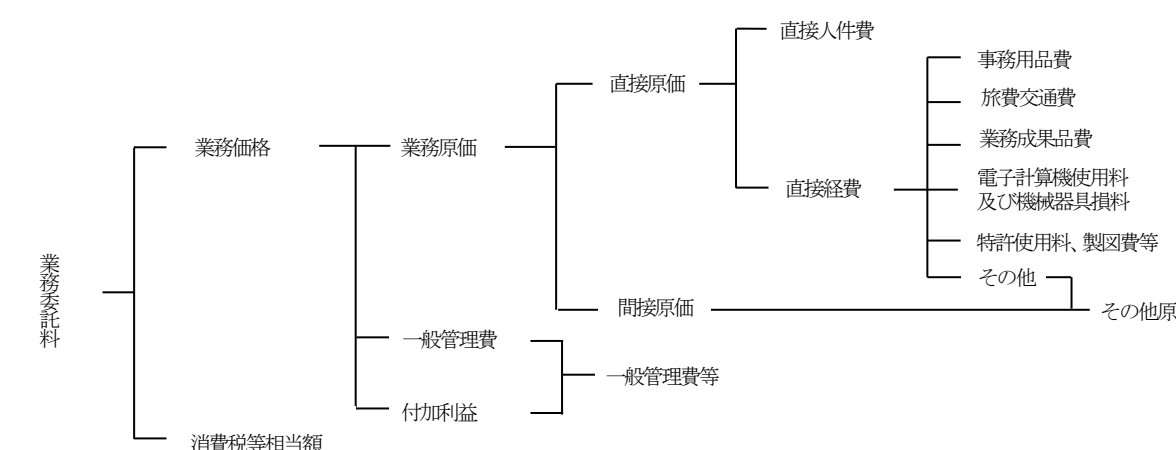


空港請負工事積算基準（令和7年4月）	空港請負工事積算基準（令和8年4月 改定案）	現行ページ	備考																																																																																																																							
<p>(2) 算定方法 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記により算出する。 $G = dg \times J + \alpha$ ただし、 G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位：円 1,000 円未満切捨て） dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数第4位四捨五入し、第3位とする。） J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費） （単位：円 1,000 円未満切捨て） α：積上げ費用（単位：円 1,000 円未満切捨て）</p> <p>1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = A \left\{ \left(\frac{J}{a \times J^b + N} \right)^B - \left(\frac{J}{a \times J^b} \right)^B \right\} + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、 dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率 （% 小数点第4位四捨五入し、第3位とする。） J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費） （単位：円 1,000 円未満切捨て） N：工期延長等日数（受注者の責めに帰す場合は除く）（日） ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数 R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役） A、B、a、b：工種毎に決まる係数（表-1）</p> <p>表-1</p> <table border="1" data-bbox="261 1276 1383 1444"> <thead> <tr> <th rowspan="3">工種区分</th> <th colspan="5">係数A</th> <th colspan="5">係数B</th> <th rowspan="3">係数a</th> <th rowspan="3">係数b</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> </tr> <tr> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>154.3</td> <td>138.5</td> <td>194.2</td> <td>112.6</td> <td>241.0</td> <td>-0.0929</td> <td>-0.0947</td> <td>-0.1284</td> <td>-0.0938</td> <td>-0.1414</td> <td>4.4794</td> <td>0.2126</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>672.8</td> <td>596.1</td> <td>423.8</td> <td>488.0</td> <td>390.7</td> <td>-0.2193</td> <td>-0.2196</td> <td>-0.2054</td> <td>-0.2195</td> <td>-0.1970</td> <td>0.5918</td> <td>0.3113</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		交通 影響なし	交通 影響有り	交通 影響なし	交通 影響有り	空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126	空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113	<p>(2) 算定方法 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記により算出する。 $G = dg \times J + \alpha$ ただし、 G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位：円 1,000 円未満切捨て） dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数第4位四捨五入し、第3位とする。） J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費） （単位：円 1,000 円未満切捨て） α：積上げ費用（単位：円 1,000 円未満切捨て）</p> <p>1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = A \left\{ \left(\frac{J}{a \times J^b + N} \right)^B - \left(\frac{J}{a \times J^b} \right)^B \right\} + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、 dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率 （% 小数点第4位四捨五入し、第3位とする。） J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費） （単位：円 1,000 円未満切捨て） N：工期延長等日数（受注者の責めに帰す場合は除く）（日） ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数 R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役） A、B、a、b：工種毎に決まる係数（表-1）</p> <p>表-1</p> <table border="1" data-bbox="1418 1276 2540 1465"> <thead> <tr> <th rowspan="3">工種区分</th> <th colspan="5">係数A</th> <th colspan="5">係数B</th> <th rowspan="3">係数a</th> <th rowspan="3">係数b</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> </tr> <tr> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>654.9</td> <td>619.8</td> <td>445.9</td> <td>490.1</td> <td>426.4</td> <td>-0.2505</td> <td>-0.2545</td> <td>-0.2410</td> <td>-0.2524</td> <td>-0.2350</td> <td>1.7591</td> <td>0.2661</td> </tr> <tr> <td>空港地盤改良工事</td> <td>1849.3</td> <td>1705.0</td> <td>1051.8</td> <td>1367.3</td> <td>929.4</td> <td>-0.2977</td> <td>-0.2989</td> <td>-0.2765</td> <td>-0.2983</td> <td>-0.2658</td> <td>6.4625</td> <td>0.1917</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>672.8</td> <td>596.1</td> <td>423.8</td> <td>488.0</td> <td>390.7</td> <td>-0.2193</td> <td>-0.2196</td> <td>-0.2054</td> <td>-0.2195</td> <td>-0.1970</td> <td>0.5918</td> <td>0.3113</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		交通 影響なし	交通 影響有り	交通 影響なし	交通 影響有り	空港用地造成工事	654.9	619.8	445.9	490.1	426.4	-0.2505	-0.2545	-0.2410	-0.2524	-0.2350	1.7591	0.2661	空港地盤改良工事	1849.3	1705.0	1051.8	1367.3	929.4	-0.2977	-0.2989	-0.2765	-0.2983	-0.2658	6.4625	0.1917	空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113	1-8-7	<p>「空港地盤改良工事」 新設に伴う修正</p>
工種区分		係数A					係数B										係数a	係数b																																																																																																								
		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部																																																																																																																
	交通 影響なし				交通 影響有り	交通 影響なし				交通 影響有り																																																																																																																
空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126																																																																																																														
空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113																																																																																																														
工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b																																																																																																														
	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部																																																																																																																	
				交通 影響なし	交通 影響有り				交通 影響なし	交通 影響有り																																																																																																																
空港用地造成工事	654.9	619.8	445.9	490.1	426.4	-0.2505	-0.2545	-0.2410	-0.2524	-0.2350	1.7591	0.2661																																																																																																														
空港地盤改良工事	1849.3	1705.0	1051.8	1367.3	929.4	-0.2977	-0.2989	-0.2765	-0.2983	-0.2658	6.4625	0.1917																																																																																																														
空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113																																																																																																														

空港請負工事積算基準（令和7年4月）	空港請負工事積算基準（令和8年4月 改定案）	現行ページ	備考
<p>第1節 総則</p> <p>1-1 適用範囲 この積算基準は、空港土木事業に係る設計業務等に適用する。</p> <p>第2節 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p>  <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>1) 直接人件費は、業務処理に従事する技術者の人件費とする。 ※夜間業務の労務単価は、割増対象賃金比、割増し係数、割増し時間を考慮して積算する。なお、時間的制約がある場合については、工事に準ずるものとする。</p> <p>2) 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の①から⑤までに掲げるものとする。 ①事務用品費（直接人件費の1.0%を標準とする。ただし、事前協議、報告及び照査の直接人件費は除く） ②旅費交通費 ③業務成果品費 ④電子計算機使用料及び機械器具損料 ⑤特許使用料、製図費等 ※これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費（積上計上するものを除く）からなる。 なお、特殊な技術計算、図面作成等の専門業に外注する場合に必要となる経費、業務実績の登録等に要する費用を含む。</p> <p>1) 間接原価 当該業務担当部署の事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等の経費とする。</p>	<p>第1節 総則</p> <p>1-1 適用範囲 この積算基準は、空港土木事業に係る設計業務等に適用する。</p> <p>第2節 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p>  <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>1) 直接人件費は、業務処理に従事する技術者の人件費とする。 ※夜間業務の労務単価は、割増対象賃金比、割増し係数、割増し時間を考慮して積算する。なお、時間的制約がある場合については、工事に準ずるものとする。</p> <p>2) 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の①から⑤までに掲げるものとする。 ①事務用品費（直接人件費の1.0%を標準とする。ただし、事前協議、報告及び照査の直接人件費は除く） ②旅費交通費 ③業務成果品費 ④電子計算機使用料及び機械器具損料 ⑤特許使用料、製図費等 ※これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費（積上計上するものを除く）からなる。 なお、特殊な技術計算、図面作成等の専門業に外注する場合に必要となる経費、業務実績の登録等に要する費用を含む。</p> <p>1) 間接原価 間接原価は当該業務担当部署の事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等の経費、熱中症対策費用（作業員個人に対する費用）とする。 また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策に関する費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。積み上げ計上を行う場合は、熱中症対策費用（作業員個人に対する費用）と重複がないことを確認するものとする。</p>	1	記載の修正